

アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議

アメリカとイスラエルは2月28日、イランに対する大規模な攻撃を開始した。これは国連憲章と国際法の精神を根本から破壊する暴挙であり、断じて容認することはできない。

現在、トランプ米大統領はイラン政権を「テロ組織」と断定し、大規模かつ継続的な作戦の実施や体制転覆を公然と呼びかけている。いかなる理由があろうとも、武力による一方的な攻撃で独立した主権国家の最高指導者を殺害する権限は与えられておらず、こうした事態の過激化は、中東及び世界の平和と安定に深刻な打撃をもたらすものである。

また、このことは、国連軍縮会議場にある砒部焼の巨大地球儀「生命の碧い星」を寄贈した本町の世界平和を願う気持ちを踏みにじるものである。

よって本町議会は、アメリカ・イスラエルによる今回の一連の軍事攻撃に強く抗議し、直ちにすべての攻撃を中止し、交渉による平和的解決に立ち戻るよう強く要求する。

以上、決議する。

令和8年3月13日

愛媛県砒部町議会